



富士山憲章 NewsLetter

2017
7

No.123

平成29年度 富士山憲章山梨県推進会議幹事会の開催



富士山憲章山梨県推進会議 幹事会の様子

平成29年5月24日(水)富士山世界遺産センター北館研修室において、平成29年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。

当会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)と2つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合)で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定された「富士山憲章」の普及啓発や富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。

年に1度行われる幹事会では、富士山憲章山梨県推進会議(事務局 富士山世界遺産センター)の活動報告や決算報告、本年度の事業内容や予算を決定します。当日は、当会議の事務局長をはじめ、構成市町村・団体の担当者が出席しました。

平成28年度活動報告

「富士さんへ謹賀新年」の返礼として、前年度の応募者に送付していた「富士山からの年賀状」を、「富士山からの暑中見舞い」に変更し、夏富士の写真に富士山憲章の行動規範を添えて送付しました。

また、山梨県と共催で開催している「富士山レンジャー写真展」については、富士山憲章の全国的な普及のため、また山梨県以外の多くの人にも富士山の現状を認識して頂き、環境保全への関心を高めてもらう目的で、東京都内や神奈川県内などでも開催しました。

その他、「富士北麓駐車場キャンペーン」や「富士山エコトレッキング」、「富士さんへ謹賀新年」等についても、県内外から多くの方々に参加していただきました。



平成28年度送付 富士山からの暑中見舞い

平成29年度事業内容

富士山ボランティアセンターでは、富士山憲章の理念である「保護と適正な利用」のもとに、本年度も活動していきます。

例年実施している「富士北麓駐車場キャンペーン」は、どのような活動なのかより分かりやすくするため「富士山美化啓発キャンペーン」と名称を変更し実施します。本年度は7月15日(土)～17日(月)、8月10日(木)～16日(水)の合計10日間、山梨県立富士北麓駐車場で実施します。啓発物品を配布しながら保全や登山のマナーを呼びかけるとともに、駐車場内の清掃活動も行います。

また、昨年多くの応募をいただいた「富士山エコトレッキング」も、夏と秋の2回、奥庭～富士山五合目～御中道のコースで開催します。第1回目の開催は7月29日(土)に親子・学生向けで実施します。清掃活動を行うとともに、富士山の自然や歴史の解説、環境保全のレクチャーを受けながらトレッキングします。興味のある方は本誌裏面をご確認下さい。

その他にも、「富士さんへ謹賀新年」事業やメールマガジン・ニューズレターによる情報の発信、富士山や周辺地域で美化活動をする方々へゴミ袋や軍手、啓発物品の提供など、富士山の環境保全と適正利用の周知をより一層推進していきます。



夏の御中道



清掃活動する団体に提供するゴミ袋、軍手

富士山環境保全募金 募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境を保全していくために、皆様からの募金・寄付を受付けております。皆様より寄せられた募金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。皆様のご理解とご協力の程、宜しく願いいたします。

設置場所

- ・ 富士山ボランティアセンター
- ・ 富士山五合目総合管理センター
- ・ 道の駅富士吉田
- ・ ふじやまビール
- ・ 山梨県富士山科学研究所
- ・ 三つ峠グリーンセンター
- ・ 富士湧水の里水族館
- ・ 山中湖観光案内所
- ・ 山中湖 紅富士の湯
- ・ 山中湖 花の都公園
- ・ 富士河口湖観光総合案内所
- ・ 河口湖自然生活館
- ・ 道の駅なるさわ
- ・ なかとみ和紙の里
- ・ 湯之奥金山博物館



山梨から富士を見る

毛無山（身延町） 1945.4m

毛無山山頂から見た富士 雲の中、一時間以上粘って現れた感動の瞬間



北アルプス展望台に登る
天気の良い日は見晴らしが良い

富士山の西、朝霧高原の向こうに天子山塊と呼ばれる山の連なりが見える。その中で一番高い山が毛無山である。山の東側から登るのがほとんどどのようだが、今回は西側、身延町下部湯之奥コースを紹介したい。

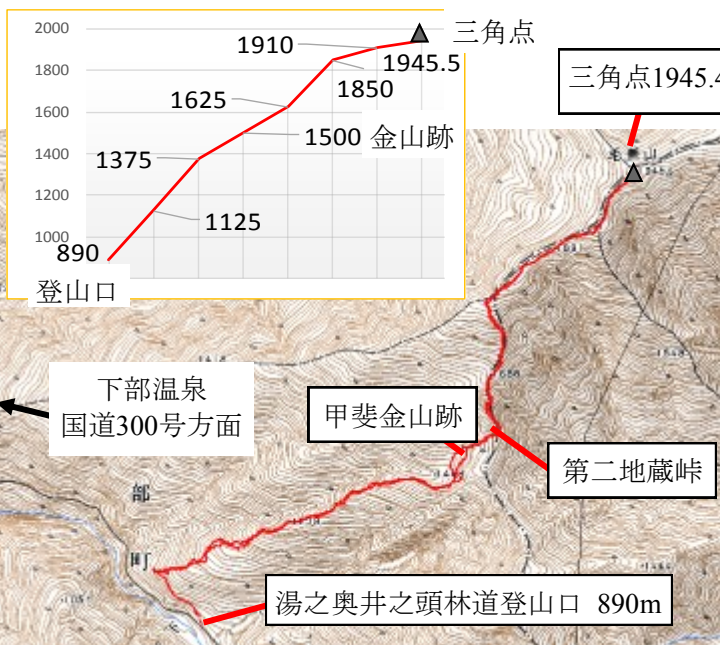
登山口までは駅からの距離も遠く、バスも通っていないため、車かタクシーがおすすめ。登山口に5台程度駐車できるスペースがある。行程中トイレはない。行程は終始、植林帯・高木帯を歩くため展望は少なめだが、林床に咲く花が季節によって入れ替わりながら目を楽しませてくれる。突如、戦国期から江戸前期まで操業されていたという、甲斐金山の遺跡が現れる。標高1500メートルに位置する谷あいだが、水場もある。設置された説明版によると、大名屋敷や女郎小屋まであったという。かつての賑わいを想像しながら歩くのも良い。

富士見ポイントは第二地蔵峠と山頂。どちらも展望が確保されている。そのほかに北アルプスが望める大岩もある。この日は山頂付近と富士山の周りに雲がかかり富士山は望めなかった。しかし、山頂で休憩しながら粘った結果、一瞬富士が頭を見せてくれた。



中山金山遺跡の大名屋敷跡
集落の一番高い場所にある

登山道状況・詳細
問い合わせ先
身延町役場観光課
0556-42111(代表)



山梨・山のグレイディングは「3B(転倒の際、転落・滑落事故につながる)」。急斜面を横切る地点や、高低差1000メートルを上り下りするので登山経験と体力が必要。

※ 毛無山の最高地点は1964メートルの場所だが、今回は三角点と山梨百名山の標柱が設置されている地点を山頂とした。

二〇一七年夏は 富士登山!

吉田口は久須志神社のところに出る。おはちめぐりをするなら右回りが一般的。神社を右手に見て左へ進む。直径約780メートルの巨大噴火口の周囲を歩く道は他の惑星に来たかのように。富士登山で一番楽素晴らしいところ。天候・体力・時間が許すならぜひ回ろう。



砂ぼこりがすごいので、マスクをしよう。下り道を歩くときは、かかとから着地すること。そしてひざを伸ばしたままではなく、曲げた状態で着地すること。



九合目

白い鳥居が見えてきたら九合目だ。あせらずゆっくり、ゆっくり。空気も薄くなっている、自分の体調と精神状態を注意深く見つめながら進む。



登山道は岩場になる。時には岩につかまったり、手をつけて体を支えることも。ただし登山道の両脇のクサリやロープにはつかまらないこと。登山道の境界を表示するものなので、登山者が体を引き上げる強度はない。



~七合目

七合目まではジグザグの砂利道が続く。階段状になっている箇所もあるが、できるかぎり段差の低いところを選ぼう。高い段差を上がることは非常に体力を消耗する。曲がり角(付近)ごとにちょっと止まって水分やおやつを少しずつ取るのがおすすめ。でも長く休み過ぎないように。



吉田・須走分岐



歩幅を普段歩く時の半分くらいにして、ゆっくり登っていくこと。石が滑りやすいので注意。

六合目



シェルターの先は安全指導センター。登山マップの配布や、山頂の気象情報の提供がある。ここでトイレに行っておこう。次のトイレまでは1時間ある。ここは五合目から来た道・山頂方向への道・山頂方向からの道・佐藤小屋へ下る道に分かれている。山頂からの帰りに道を間違えないようによく覚えておこう。

五合目



五合目に到着したら・体と心の準備をしよう!

- 水分を取る
- 外の空気を吸って軽くストレッチ運動
- 空腹なら軽〜く腹ごしらえ
- 深い呼吸で過ごす

などをして、30分~1時間滞在するのがおすすめ。



持ち物は？



山頂

ヘルメット、マスク、ゴーグル

頭部保護や防塵等、安全・快適登山に有効。その他、突発的な落石等にも有効。

帽子、サングラス

紫外線を避ける為にも帽子をかぶろう。

飲料水

体重60kgの人が8時間以上歩くには1.2L必要。500mlが1本あれば山小屋でも購入することもできる。値段は高いが体力消耗防止に、こまめに水分補給をしよう。

ヘッドライト

夜間登山には必須！日帰り登山でも万一に備えて持参しよう。予備電池も忘れずに。

防寒具

富士山の夜は氷点下になることも。ダウン等の上着、手袋、帽子などの防寒具が必要。レインウェアを着て防風すると保温効果あり。



下山道

つづら折りの道が延々と続く下山道は富士登山で一番つらい部分。

～八合目

七合目からは山小屋がたくさんあるので上手に利用しよう。値段は張るが飲み物、スナック、食事をとることができる。お手洗いはすべて有料。トイレの維持管理には費用がかかる。ぜひご協力を。

食糧、行動食

余裕をもって2～3食分持参しよう。疲労回復にアメやチョコレート等の補助食をこまめに補給。

レインウェア

上下セパレートタイプを持参しよう。山の天候は変わりやすい。風が強いためポンチョやかサは危険なのでやめよう。

ゴミ袋

富士山にゴミ箱はない。ゴミは必ず持ち帰ろう。

小銭

富士山のトイレ利用には1回200円～300円のチップが必要。すぐに出せるところに入れておこう。富士山保全協力金1000円も、環境保全のためにご協力よろしくお願いします。

登山靴

靴底がしっかりした、グリップの良いくるぶしまで覆う登山靴がおすすめ。

携帯トイレ

7月1日～10日、9月10日以降は山頂トイレが使えない。携帯トイレを持参してください。（静岡県との開山時期が違います）



下江戸屋のところは吉田ルートと須走ルートの分岐。看板を見落とさないようにしよう。また、七合目のトイレまで1時間あまりトイレがない。山小屋もこれ以降はない。トイレを済ませ、必要な分の水などを購入しておこう。

泉ヶ滝



右側の上り坂との分岐に「泉ヶ滝」。富士講の信者が身を清めた場所だ。ここから登りが始まる。

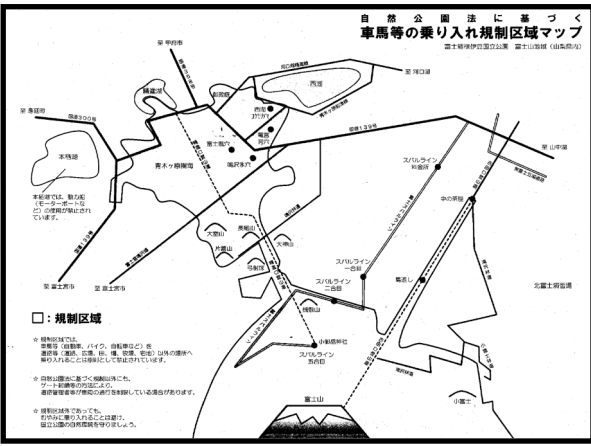
登山道入口



五合目から出発後、20分ほどはゆるい下り坂。帰りにはここが上り坂になる＝体力を残しておくということを頭のかたすみに置いておこう。これからここに戻るまでずっと、呼吸は『吸う』よりも『吐く』を意識して。

車輛乗り入れ防止パトロール

富士箱根伊豆国立公園の特別保護地区、及び車両乗り入れ規制地区内の林内・原野等に自動車、バイク、自転車等を持ち入れる事は自然公園法に基づき禁止されています。こうした規制にもかかわらず違反者が後を絶たないため、環境省、山梨県、富士吉田警察署、関係市町村、富士山レンジャー等関係者が一斉パトロールや啓発活動を毎年行っています。今年は4月15日に第一回目が行われました。



車輛乗り入れ規制区域マップ

山・静・神合同
不法投棄防止一斉パトロール

5月30日、山梨県・静岡県・神奈川県が合同で富士箱根伊豆地域において、不法投棄の未然防止、早期発見、拡大防止を図る為、一斉パトロールを行いました。



富士山世界遺産センターでの開会式（5月30日）

当日の富士山レンジャー担当区域において、大型ラジカセ、電気こたつ等の家電品、コンクリートブロック、ビデオラック等の不法投棄を発見し、報告しました。



富士山レンジャーとは

富士山レンジャーは、富士山の環境保全と適正な利用の推進を目的として、平成18年度より、2名体制でスタートしました。地方自治体の組織としては、東京都レンジャーに次いで二番目の設立となります。日平成25年度までは4名で活動していましたが、富士山の世界文化遺産登録を受けて増員し、現在は7名で年間を通じて活動しています。富士山の美しい自然と文化を守るため、富士北麓周辺のパトロールや夏山開山時期の富士山安全登山啓発、清掃活動、環境学習プログラム、富士山レンジャー写真展の実施など、様々な活動をしています。



富士山世界遺産センターにて撮影

新任レンジャー紹介



原田 隆史

山梨に住み、富士山の礼拝所として古くからの信仰の山、三ツ峠に何度も登っていましたが、富士は眺めるばかりでした。レンジャーになり、富士山と自然との関わりについて多くのことを知らされる毎日です。学んだことを伝えられるよう頑張ります。



櫻井 美穂

富士ビジターセンター時代から約九年、インフォメーションカウンターの毎日富士山レンジャーの活躍を見ていました。歴代のレンジャーの教えをいつも心に、自然の大切さ、素晴らしさを人々に伝えたいと思っています。

富士山世界遺産センターだより4号

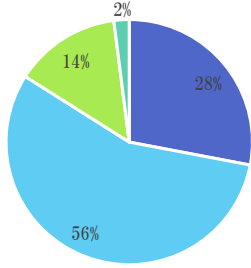
前回(3号)紹介した教育プログラム(世界遺産に登録された富士山を学ぶための学習プログラム)は、昨年6月22日のオープンと同時に始まりました。今年の3月末までに利用した学校数は、下見も含め165校、児童・生徒数5764人、引率者数946人、視察(教育委員会、校長会、教員団体、大学生等)が49団体、886人でした。

(内訳)

| | | | |
|--------|------|----|-----|
| 小学校 | 100校 | 県内 | 36校 |
| | | 県外 | 64校 |
| 中学校 | 35校 | 県内 | 9校 |
| | | 県外 | 26校 |
| 高校 | 26校 | 県内 | 12校 |
| | | 県外 | 14校 |
| 特別支援学校 | 7校 | 県内 | 2校 |
| | | 県外 | 5校 |

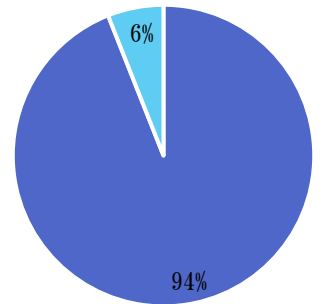
受講した学校団体50校からのアンケート結果をお知らせします。

プログラムの選択について



- 自由めぐり(ワークシートやタブレットによる自主学習)
- 館内めぐりガイド(スタッフが館内を案内する)
- 世界遺産教室(座学による学習)
- 自然観察路めぐりガイド

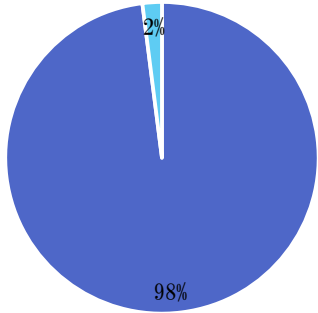
内容について



- 分かりやすかった
- 分りにくかった

「ていねいな説明をいただいたので、子どもたちも興味をもって聞くことができました。」
 「難しい内容を分かりやすく、説明していただいた。」
 「施設がきれいで、中学生も興味を持てる内容でした。映像が多く分かりやすかったです。」
 「小学4年生にとっては、北館の展示物もあわせて見学することで、富士吉田方面や富士山に関する学習が深まると感じました。」
 「解説員の先生によつてですが、声小さく他の団体もいたので、聞きづらかった。」

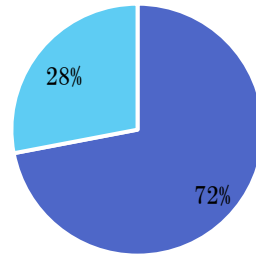
職員の対応について



- 良かった
- 改善すべき

「下見の時より、ていねいに対応していただき、ありがとうございます。」
 「最初に文化遺産の理由(キーワード)を説明していただいたのが良かったです。」
 「予定より早く到着してしまいました。が、快く対応していただきました。」
 「生徒への注意喚起の言葉を改善して欲しい。」

今後の利用について



- 利用したい
- 状況に応じて利用したい
- 利用したくない

全体の感想や要望

「富士山の学びの中心になるよう、今後も広めていきたい。」
 「ガイドでていねいに説明していただき、富士山について新たな課題を持つことができました。」
 「初めての世界遺産教室は非常に分かりやすい説明でした。館内めぐりガイドに行く際に必要な情報でした。」
 「一定の期間をあげ、生徒に本日も同様の内容で学習活動を考えたい。」

「わかりやすい説明で、中学生・小学生にも富士山が信仰の対象であり、芸術の源泉であること、山梨県民として誇れる存在であることが、理解できたと思います。」
 このアンケートの結果を参考に、今後もプログラムの充実を図っていきます。より多くの学校団体のご利用をお待ちしています。

企画展

「再現 富嶽三十六景の世界」

葛飾北斎が描いた富嶽三十六景には、富士見の名所となつた各地の名勝や信仰にゆかりのある文物が描かれています。富嶽三十六景をとおして見えてくる世界遺産富士山の魅力を紹介します。

●開催期間

7月26日(水)～9月25日(月)

●開催場所

富士山世界遺産センター南館

富士山ステーション

※ 展示の観覧には、南館の入館料が必要となります。

イベント情報

富士山エコトレッキング(親子・学生向け) 参加者募集中

「富士山にゴミを持ちこまない、捨てない、気づいたゴミは拾う」という趣旨のもと、清掃活動に加え、富士山の自然や文化にふれあいながら環境保全を考える機会として、富士山エコトレッキングを開催します。

開催日時 平成29年7月29日(土) 8:20~16:30(予定)

開催コース 奥庭~富士山五合目~御中道

奥庭(約1km)や御中道(約3km)は、比較的平坦な遊歩道で、天気の良い日には富士山頂や富士四湖、南アルプスなどが一望できます。

集合場所 富士山世界遺産センター 北館玄関

対象 親子・家族連れ、学生 先着順 30名

申込方法 富士山ボランティアセンターのHPより申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上FAX、メールもしくは持参してください。

http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/ecotre_h29_nol.html

募集期間 6月5日(月)~7月14日(金)まで

持ち物等 トレッキングに適した服装、昼食、飲み物、雨具(カッパ)

雨天時 前日17:00時点の予報で、降水確率は50%を超える場合は安全を考慮し中止となります。お申込の際の連絡先へのご連絡となりますので、連絡のとれる電話番号をお知らせください。



富士山レンジャー写真展2017 巡回展示中

山梨県富士山レンジャーが撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題などを紹介しています。富士山レンジャーならではの視点で撮られた写真をぜひご覧ください。

7月9日(日)~7月21日(金)
7月29日(土)~8月11日(祝)
8月19日(土)~9月1日(金)
9月1日(火)~9月15日(金)
9月6日(水)~10月31日(火)
10月1日(日)~10月25日(水)
10月26日(木)~11月10日(金)

mont-bellモンベル渋谷店
mont-bellモンベル御徒町店
mont-bellモンベル京橋店
山梨県立図書館
NPO法人富士山クラブ もりの学校
富士山レーダードーム館
河口湖ショッピングセンターBELL



富士山憲章(行動規範)

- 一、富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一、富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一、富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一、富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一、富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくこと目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター
(富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/maillmagazine/regist.html>